【受験者は受験日の1ケ月以内にキャリブレーションして、受験当日試験委員に提出】

エアメータのキャリブレーション結果記録表《無注水法》

JIS A 1128 に準拠し、初圧力の調整をした場合は、移動させたイニシャルプレッシャーラインを目盛板に明記し、その旨を試験委員に伝えること。

イニシャルプレッシャーラインの移動の有無　有□　無□　※いずれかレ点を入れる

受験番号		受験者名	
受験日		会社名	
測定日	年　月　日	測定者	
製造メーカ			
エアメータ	型式:	製造番号※:	
はかり		温度計	デジタル　・　棒状
ｵｰﾊﾞｰﾎｰﾙ	□ メーカー依頼　□ その他機関　会社名:		

容器のキャリブレーション(測定:1g 単位)

−	使用する水の温度を測定(有効数字3桁)	℃
	使用する水の密度の計算(有効数字 4 桁)	g/cm^3
①	容器の質量	g
②	上蓋(ふた)の質量	g
③	ガラス板の質量	g
④	[容器＋ガラス＋水]の質量	g
⑤	容器内の水の質量 ＝ ④−①−③	g
⑥	容器内の水の容積 ＝ ⑤÷水の密度	cm^3

空気量の目盛のキャリブレーション　記録は, 0.1%単位

キャリブレーション対象の空気量	計算上の空気量 %	目盛りの読み値 %	差 %
初圧(0%)			
1.0%			
2.0%			
3.0%			
4.0%			
5.0%			
6.0%			
7.0%			

水の密度（10℃:0.9997, 12℃:0.9995, 14℃:0.9992, 16℃:0.9989, 18℃:0.9986, 20℃:0.9982, 22℃:0.9978, 24℃:0.9973）

※製造番号の記入漏れ、記入ミスのないようご注意ください。

※試験当日、本表を忘れないようご注意ください。